

尾張西部

生態系ネットワーク協議会

未来へつなげる
 自然の共生の歴史を
 築いてきた人と

West Owari

名古屋市、一宮市、津島市、
 江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、
 清須市、北名古屋市、弥富市、
 あま市、豊山町、大口町、扶桑町、
 大治町、蟹江町、飛鳥村

2016年(平成28年)11月22日、尾張西部生態系ネットワーク協議会が設立、同協議会では、会員47団体(2021年(令和3年)6月末時点)で「サギやケリの舞う^{いのち}生命豊かな尾張平野をめざして」をテーマに、県西部の木曾川・庄内川中下流域に発達する濃尾平野の肥沃な土壌の上で、さまざまな活動を展開してきました。

協議会テーマ
サギやケリの舞う^{いのち}生命豊かな尾張平野をめざして



島畑の景観



五条川



岩倉市自然生態園



チュウサギ

県内有数の水田地帯など、貴重な地域における活動

尾張西部地区は木曾川、日光川、庄内川をはじめ、多くの河川や農業水路が流れ、水田などの田園風景が広がっています。県内有数の水田地帯であり、大型台風や氾濫などの被害の歴史を乗り越えてきました。水田の中に設けられた畑地で世界的にも珍しい「島畑」を見られるのも、この地域ならではの特徴です。これまでに、会員メンバーの工場敷地内に設けられたビオトープでの生きもの観察会、河川の岸における植栽イベント、弥富野鳥園での鳥と生きもの・ふれあい学習会を開催しました。

陸だけでなく海の自然環境も魅力の一つ

水田の内部に島状に畑地が残る「島畑」は、灌漑・田圃整備や機械化の進行に伴い減少しましたが、伝統的な景観として生態系の保全に極めて貴重な場所です。木曾川には国内に数か所しかない「河畔砂丘」があり、固有の生物が生育しています。伊勢湾臨海部を中心に工業地帯が形成されたエリアでは、河口部の埋め立てが進みましたが、残された干潟や河口のヨシ原には、多数の渡り鳥が飛来し餌場や繁殖地として、水鳥や貝類などの貴重な生息区域になっています。

今後に向けて

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、大規模な活動を自粛していましたが、協議会メンバー間での連携や情報共有をはかりながら、地味ながらもアクションを起こせるように、メンバーによる個々での活動を続けています。今後、ネットワーク形成交付金を活用してのビオトープづくりや、自然観察会やバスツアー、さらにはメンバー間での取組を発表する場としてのフォーラムの開催など、様々な生物多様性保全活動を取り組めるように努めていきます。

【構成団体一覧】47団体

<大学等 3>
 大同大学、愛知県立佐屋高等学校、学校法人長沢学園木田幼稚園
 <企業等 11>
 (公財)愛知公園協会、(株)イチテック、エスベックミック(株)、A & A 下水道科学館、(株)加藤建設、豊田合成(株)、宮田用土改良区、(株)山田組、(株)日建コンサルティング、あまロータリークラブ、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)稲沢サイト
 <NPO等 15>
 (NPO)祖父江のホテルを守る会、(NPO)トンボと水辺環境研究所、(NPO)れんこん村のわくわくネットワーク、愛知県下水道科学館ビオトープの会「ビオピース」、海部地域・淡水魚水族館、一宮平成ホテルの会、尾張自然観察会、名古屋市水辺研究会、日本野鳥の会 愛知県支部、びおっこの会、ビオトープ・ネットワーク中部、萬葉公園はたる会、Longhill Net、T・海部野川、(NPO)愛知環境カウンセラー協会
 <行政機関 18>
 名古屋市、一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛鳥村、愛知県

地域の生態系

ナゴヤダルマガエル、
 サギ、ケリなど



ハス田

<おもな活動>

- ・水田生態系の保全・再生
- ・河川生態系の保全・再生
- ・都市生態系の創出・改良
- ・希少種の保護
- ・侵略的外来種の防除